

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 クイック

コード番号 4318 URL <http://919.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和納 勉

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 藤原 功一

TEL 06-6375-0061

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,398	△42.3	△237	—	△212	—	△207	—
21年3月期第1四半期	2,425	—	△57	—	△58	—	△44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△11.04	—
21年3月期第1四半期	△2.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,780	1,613	57.7	85.54
21年3月期	3,202	1,812	56.3	96.23

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,603百万円 21年3月期 1,804百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.00	—	0.00	2.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,328	△29.5	△348	—	△328	—	△333	—	△17.76
通期	7,350	△19.3	△150	—	△110	—	△120	—	△6.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	19,098,576株	21年3月期	19,098,576株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	350,000株	21年3月期	350,000株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	18,748,576株	21年3月期第1四半期	19,098,576株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年4月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。
2. 本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これらの業績予想と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨秋の世界的な景気失速による影響が根強く、引き続き厳しい状況が続いております。ここへきて、製造業の一部では輸出に持ち直しの動きが見られ、また在庫調整が進んだことから生産にも持ち直しの兆しが見え始めましたが、総じて企業収益は低迷を続けております。

国内の雇用情勢につきましても、こうした企業収益の悪化や先行き不透明な景況感を反映して各社の採用ニーズは大きく減退し、平成21年5月には有効求人倍率が0.44倍まで下降し、また完全失業率は5.2%へと上昇するなど、雇用を取り巻く環境は依然厳しい局面となっております。

このような状況におきまして当社グループでは、リクルーティング広告事業におきまして、景況悪化の影響から中途採用及び派遣スタッフ登録募集に関する需要が大幅に減少し業績が低迷しました。こうした中、心の状態診断プログラム「Mind Checkup」活用後の研修や顧客企業専用の採用ホームページの販売など、採用広告取り扱い以外の人材ニーズに対応するサービスの拡充を図りましたが売上高は276百万円（前年同期比63.5%減）、営業損失は72百万円（前年同期は営業利益37百万円）となりました。

人材サービス事業におきましては、人材紹介事業は、企業の業績低迷に伴う中途採用抑制の動きに拍車がかかったことで実績が伸び悩みました。こうした中、求人ニーズが底堅い医療分野でのサービス強化に向け、看護師紹介のための専門サイト「看護roo!」をオープンいたしました。また、人材派遣・紹介予定派遣事業におきましても、派遣先企業の人件費抑制策の一環として派遣契約更新を行わない雇い止めが急増したことから業績は急速に下降いたしました。一方、海外事業につきましてはQUICK USA, INC.の人材紹介業務、上海クイックマイツ有限公司の人事コンサルティング業務が牽引役となり順調に業績が拡大いたしました。これらの結果、人材サービス事業につきましては売上高は567百万円（前年同期比34.6%減）、営業損失は59百万円（前年同期は営業利益27百万円）となりました。

情報出版事業におきましては、長引く不況の影響から企業の販促・採用マインドが低迷しており、主力商品である生活情報誌のほか大半の媒体が苦戦を続けております。こうした中、各種WEB商品の販売強化のための営業セクションの立ち上げなどの営業強化策や発行媒体・エリアの見直し、縮小移転など各種経費削減に取り組みましたが売上高は445百万円（前年同期比25.5%減）、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失20百万円）となりました。

IT関連事業におきましては、人事・労務ナビ「日本の人事部」は会員数の順調な増加や新たな編集企画の成功により業績が拡大いたしました。一方、主力商品である「人材バンクネット」は、顧客企業と求職者の双方にとって活用しやすいサイト作りに取り組み、累計会員数は40万人を突破いたしました。しかし、顧客企業である人材紹介各社の登録者募集コスト削減の本格化による参画企業の減少をカバーするには至らず、売上高は109百万円（前年同期比46.0%減）、営業利益は6百万円（前年同期比68.3%減）となりました。

この結果、当第1四半期における当社グループの売上高は1,398百万円（前年同期比42.3%減）、営業損失は237百万円（前年同期は営業損失57百万円）、経常損失は212百万円（前年同期は経常損失58百万円）、四半期純損失は207百万円（前年同期は四半期純損失44百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は2,780百万円となり、前連結会計年度末と比較して421百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少、売上債権の減少によるものであります。

負債合計は1,167百万円となり、前連結会計年度末と比較して222百万円減少しました。主な要因は、買掛金の減少、賞与引当金の減少によるものであります。

純資産合計は1,613百万円となり、前連結会計年度末と比較して199百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失の計上によるものであります。なお、自己資本比率は57.7%と前連結会計年度末と比較して1.4ポイント改善しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増減額は、税金等調整前四半期純損失の計上、長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末と比較して267百万円資金が減少し、当第1四半期連結会計期間末における残高は863百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失は212百万円であり、売上債権の減少168百万円等により資金が増加しましたが、仕入債務の減少135百万円、賞与引当金の減少22百万円等により資金が減少したため、営業活動の結果使用した資金は239百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

固定資産の取得による支出3百万円、投資有価証券の取得による支出11百万円等により資金が減少したため、投資活動の結果使用した資金は14百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金が2百万円増加しましたが、長期借入金の返済による支出19百万円等により資金が減少したため、財務活動の結果使用した資金は17百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成21年4月30日付「平成21年3月期決算短信」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の当社グループの状況を勘案し、当該連結業績予想に修正のある場合には速やかに開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加算減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	903,351	1,120,861
受取手形及び売掛金	550,318	718,781
有価証券	40,494	40,473
繰延税金資産	19,032	16,929
その他	125,285	127,854
貸倒引当金	△964	△1,260
流動資産合計	1,637,517	2,023,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	366,874	370,305
工具、器具及び備品（純額）	16,425	17,735
土地	311,354	311,354
有形固定資産合計	694,654	699,395
無形固定資産		
その他	36,395	32,448
無形固定資産合計	36,395	32,448
投資その他の資産		
投資有価証券	84,420	71,878
繰延税金資産	25,666	18,345
敷金	291,939	293,308
その他	26,338	78,868
貸倒引当金	△16,151	△15,382
投資その他の資産合計	412,213	447,018
固定資産合計	1,143,263	1,178,862
資産合計	2,780,781	3,202,501

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	142,465	280,077
短期借入金	144,000	141,400
1年内返済予定の長期借入金	79,992	79,992
未払金	235,249	259,613
未払法人税等	3,422	21,803
賞与引当金	58,066	80,177
事業構造改善引当金	—	21,394
その他	217,468	186,194
流動負債合計	880,664	1,070,652
固定負債		
長期借入金	262,680	282,678
その他	23,938	36,209
固定負債合計	286,618	318,887
負債合計	1,167,283	1,389,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,317	351,317
資本剰余金	271,628	271,628
利益剰余金	1,014,650	1,221,704
自己株式	△21,198	△21,198
株主資本合計	1,616,397	1,823,451
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,728	△2,292
為替換算調整勘定	△10,905	△17,039
評価・換算差額等合計	△12,634	△19,331
少数株主持分	9,735	8,842
純資産合計	1,613,498	1,812,961
負債純資産合計	2,780,781	3,202,501

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,425,333	1,398,613
売上原価	1,275,596	663,341
売上総利益	1,149,736	735,271
販売費及び一般管理費	1,207,392	972,663
営業損失(△)	△57,655	△237,392
営業外収益		
受取利息	452	144
受取配当金	1,341	1,329
受取販売協力金	—	16,950
その他	1,641	8,641
営業外収益合計	3,435	27,065
営業外費用		
支払利息	652	2,312
為替差損	3,295	—
貸倒引当金繰入額	—	250
その他	19	63
営業外費用合計	3,967	2,626
経常損失(△)	△58,187	△212,952
特別利益		
貸倒引当金戻入額	296	—
特別利益合計	296	—
特別損失		
固定資産除却損	1,661	—
事務所移転費用	4,218	—
特別損失合計	5,879	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△63,771	△212,952
法人税、住民税及び事業税	18,300	3,292
法人税等調整額	△37,240	△9,424
法人税等合計	△18,940	△6,131
少数株主利益	151	232
四半期純損失(△)	△44,981	△207,053

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△63,771	△212,952
減価償却費	27,111	9,797
のれん償却額	177	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,183	470
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,686	△22,110
受取利息及び受取配当金	△1,793	△1,474
支払利息	652	2,312
固定資産除却損	1,661	—
移転費用	4,218	—
為替差損益(△は益)	3,295	△731
売上債権の増減額(△は増加)	189,637	168,318
仕入債務の増減額(△は減少)	△140,578	△135,006
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,832	19,197
その他	△2,686	△47,101
小計	△112	△219,280
利息及び配当金の受取額	1,606	1,519
利息の支払額	△904	△2,246
法人税等の支払額	△61,838	△19,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,248	△239,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,158	△3,176
無形固定資産の取得による支出	△16,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△11,977
貸付けによる支出	△350	—
貸付金の回収による収入	—	199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,508	△14,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	72,405	2,600
長期借入金の返済による支出	—	△19,998
配当金の支払額	△86,085	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,680	△17,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,016	4,932
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△101,455	△267,488
現金及び現金同等物の期首残高	1,036,379	1,131,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	934,924	863,846

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	リクルーティング広告事業 (千円)	人材サービス 事業 (千円)	情報出版事業 (千円)	I T関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	757,383	867,993	597,654	202,302	2,425,333	—	2,425,333
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,713	2,594	2,775	6,047	15,129	(15,129)	—
計	761,096	870,587	600,429	208,349	2,440,463	(15,129)	2,425,333
営業利益又は 営業損失(△)	37,669	27,415	△20,498	19,037	63,623	(121,279)	△57,655

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	リクルーティング広告事業 (千円)	人材サービス 事業 (千円)	情報出版事業 (千円)	I T関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	276,593	567,407	445,375	109,236	1,398,613	—	1,398,613
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,820	2,187	1,103	4,998	10,109	(10,109)	—
計	278,413	569,594	446,478	114,235	1,408,722	(10,109)	1,398,613
営業利益又は 営業損失(△)	△72,196	△59,512	△28,897	6,034	△154,571	(82,820)	△237,392

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。